

操作手順概要

1. 台帳抽出

弥生販売の台帳類(得意先、仕入先、商品、担当者、納入先など)からJ-ONE用のデータをパソコン側に抽出します。

弥生台帳 抽出

終了 BHTへ転送処理 サーバー接続中!

windows認証にて接続

サーバー名

ユーザー名

パスワード

データ名

台帳出力先フォルダ: C:#J-POS#MST#

BHT出力先フォルダ: C:#J-POS#BHT#

全て選択

商品価格表

商品マスター

担当者マスター

得意先マスター

納入先マスター

仕入先マスター

倉庫マスター

「接続」を押下 =>接続中

「全て選択」に✓をして「選択台帳抽出」を押下

各台帳の右側に数字が表示されます(抽出した台帳の件数)

倉庫マスターはネットワーク版用ですが、Proの場合は共通倉庫「0000」が抽出されます。

台帳データはMSTホルダーに、BHT用データはBHTホルダーに抽出されます。

(BHTはバーコードハンディーターミナルの略称です)

抽出が完了しましたら「BHTへ転送処理」を押下してください。

2. BHT転送処理

弥生販売から抽出した台帳データをBHTへ転送します。



BHTへ転送したい台帳を指定してください。

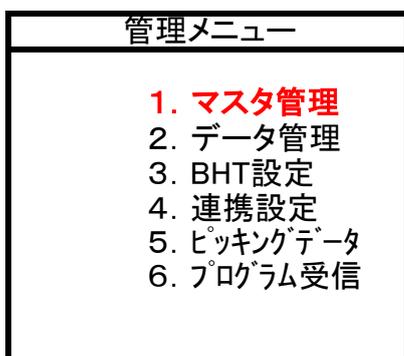
「台帳一括送信」は商品価格表～倉庫台帳までが、順次、BHTへ転送されます。



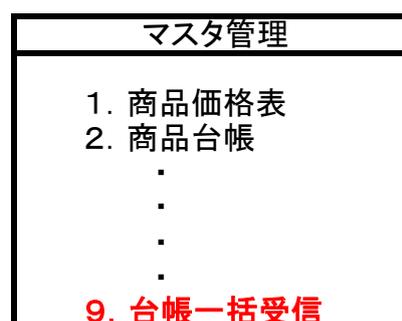
8. を選択（「M1」も同じ）

「台帳送信」⇒「台帳受信」の時に
BHTを送受信装置(クレードル)に置いて
データ伝送をしてください。

**伝送途中でBHTをクレードルから
絶対に、取り外さないでください。**



1. マスタ管理を選択 ⇒ 9. 台帳一括受信を選択



3. 伝票インポート

弥生販売伝票インポート

連動対象製品 自動検出

サーバー名 localhost#YAYOI

ユーザー名 sa

パスワード K0107j1215

データ名 株式会社

ログインユーザー名 管理者

ログインパスワード

前回情報

開く

閉じる

インポート | 伝票修正 | 伝票削除

テキストファイル名

テキスト形式 CSV

開始行 1

対象データ 得意先

参照

伝票番号自動付番

大量書き込み

インポート開始

「前回情報」を押下
関連した情報が表示されます。
ログインユーザー名を入力後に、「開く」を押下
弥生販売でデータベースが正しく開かれると「開く」ボタンがOFFとなり「閉じる」ボタンがONとなります。

弥生販売伝票インポート

連動対象製品: 自動検出

サーバー名: localhost#YAYOI

ユーザー名: sa

パスワード: K0107j1215

データ名: 株式会社

ログインユーザー名: 管理者

ログインパスワード:

前回情報

開く

閉じる

インポート | 伝票修正 | 伝票削除

テキストファイル名: C:\J-POS\DATA\@HT売上伝票.txt

参照

テキスト形式: CSV

開始行: 1

対象データ: 売上伝票

得意先
仕入先
商品
担当者
納入先
得意先別価格表
仕入先別価格表
構成部品台帳
倉庫台帳
受注伝票
発注伝票
売上伝票
仕入伝票
入金伝票
出庫伝票
見積書
倉庫移動伝票
生産伝票

伝票番号自動付番
 大量書き込み

インポート開始

このようにテキストファイル名を「参照」ボタンを押下して、該当伝票を選択
 対象データを選択（ドロップダウンより選択）
 「インポート開始」を押下
 弥生販売に該当伝票がインポートされます。
 伝票番号自動付番を✓にしてインポートすると、伝票番号が最終番号より付番されます。